

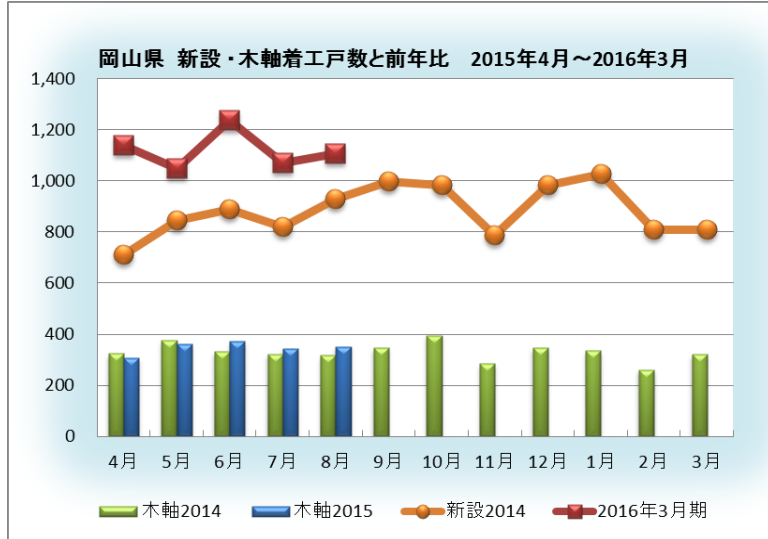
Material Factor I

岡山県の新設住宅および木軸住宅着工戸数

(参照: 国交省E-Stat・住宅産業新聞)

平成27年8月の木軸住宅着工戸数は 351戸
 前年同月比 10.7%増
 持家着工戸数 303戸
 前年同月比 14.8%増
 分譲 41戸
 前年同月比 6.8%減

持家の動向で直近の市場マインドでは、消費税増税後の
 落ち込みの反動造というのが一般的とみられています。
 岡山県では、3ヶ月連続2ケタ増となりました。

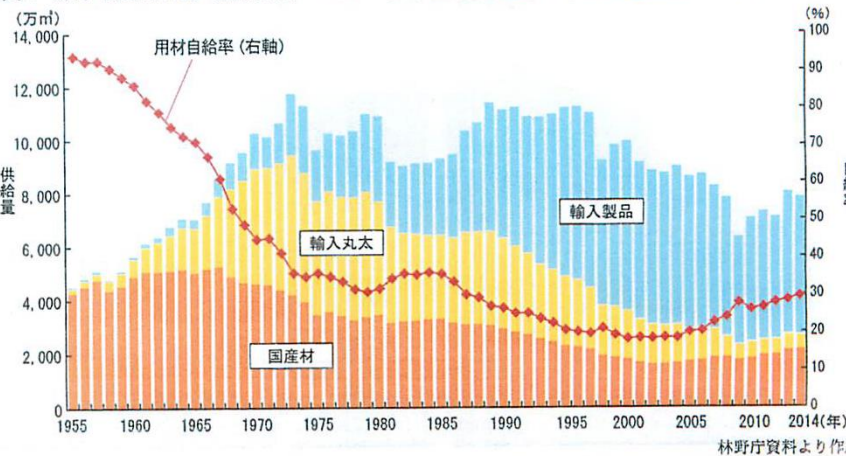


Material Factor II

木材自給率が26年ぶりに30%を突破

 7,581万m³のうち国内生産2,366万m³

図1 用材(製材用材、合板用材、パルプ・チップ用材など)の供給量と自給率の推移



林野庁は9月29日、2014年の木材需給表を公表しました。

木材需給表は、農林水産省や財務省、林野庁などの統計データを活用して日本の木材の需要量や供給量を丸太換算で集計し、製材品やパルプ、燃材料などに区分して取りまとめたものです。

2014年の木材需給料は前年比1.8%減となる7,581万m³で、そのうち国内生産が2,366万m³(前年比3.1%増)海外からの輸入が5,215万m³(同3.1%減)となりました。その結果、木材自給率は31.2%となり、1988年以来26年ぶりに30%を突破しました。

木材総需要のうち製材や合板、パルプ・チップなどの「用材」の総需要量は7,254万m³と大半を占めています。内訳は国内生産が2,149万m³、輸入が5,105万m³と自給率は29.6%となり、総需要の自給率とおなじく26年ぶりの高水準となりました。

Material Factor III

省エネ住宅ポイント 予算の80%が申請済み！

国土交通省は10月8日、9月末時点の省エネ住宅ポイントの実施状況を公表しました。

9月までの累計で32万9,198戸、533億5,221万ポイントが申請されています。

そのうち新築が14万4,894戸で386億790万ポイント、リフォームが18万4,304戸で147万7,443万ポイントとなっています。

これまで発行されたポイントの内訳も併せて公表されており、リフォームのうち最も多いのは窓の断熱改修で、44.6%のポイントが発行されています。

なお最新のポイント申請状況については、省エネ住宅ポイント事務局のホームページにて随時公表されています。

ポイント申請の締め切りは11月30日ですが、申請数が予算額に達しだい、受付終了となります。

7～9月の実施平均からみると11月末より前に予算に達する恐れがあるので、注意が必要です。

省エネ住宅ポイント事務局HP <http://shoenejutaku-points.jp/>

 ●過去の予算に対するポイント申請の実施率[※]

更新日	実施率	備考
8月21日(金) [8月20日(木)受付時点]	50%	
8月25日(火) [8月24日(月)受付時点]	52%	
9月1日(火) [8月31日(月)受付時点]	56%	
9月7日(火) [9月6日(月)受付時点]	60%	
9月15日(火) [9月14日(月)受付時点]	64%	
9月22日(火) [9月21日(月)受付時点]	68%	
9月29日(火) [9月28日(月)受付時点]	71%	
10月6日(火) [10月5日(月)受付時点]	76%	
10月13日(火) [10月9日(金)受付時点]	80%	
10月14日(水) [10月13日(火)受付時点]	83%	日々更新に変更
10月15日(木) [10月14日(水)受付時点]	84%	
10月16日(金) [10月15日(木)受付時点]	85%	